

事業概要

羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園
整備・維持管理・運営事業

コンセプト 『HANEDA "えん" PARK~いにしえと今、そして未来を"えん"でつなぐ~』

Co-Design!

~みんなでデザインしよう~

Full

充実した活動が可能な公園、“はじ”から“はじ”まで使える
全てが分け隔てなく交流できる、平坦な空間

Flat

柔軟な運営がなされる公園、時間帯や季節に応じた利用

Flexible

1 | 気軽にスポーツのできる環境づくり

2 | 人々の交流機会の創出

3 | 歴史や文化の発信

4 | 災害への備え

5 | 羽田イノベーションシティ等との連携

区が目指す5つの方向性



— 区民が世界に誇れる公園を、みんなでCo-Design!する土台となる3つの“えん” —

本グループの強み
羽田・糀谷、
大田区企業・団体との強固な絆

HICityとの一体性を
活かした公園づくり

実績ある公園“育て”的プロが集結

羽田でのまちづくりのノウハウを持つ本グループのネットワークを最大限活かし、この地域の素晴らしい文化・産業を本公園に結集するとともに、文化・産業の発展にも寄与します。

HICityのコリドーと園路を結ぶことで生まれる“円”は、HICityでの見・ネットワークを公園に呼び込むだけでなく、羽田のまちをはじめとした周辺のヒト・モノ・コトを惹きつけます。

公園に来訪する-“いる”、体験・活動に参加する-“する”、公園活用を主体的に考え行動するようになる-“なる”。これらを循環させ、利用者のサードプレイスとなり、公園活用の幅を広げます。

ゾーニング 『周辺環境に配慮し、公園全体をつかいこなす！』



「静のゾーンと動のゾーン」

目的や過ごし方の異なる多種多様な利用者のすべてに快適な空間を提供するために、穏やかな杜や交流の場、のんびり時間を過ごす広場やのどかな畠の風景に浸る“静”的ゾーン。新たな体験、スポーツや遊び、食事等のアクティビティな活動を促す“動的ゾーン”と位置づけました。

「地域とつながる2つの軸」

“花の輪”は、園内のメイン動線として全ての公園機能をつなぎ合わせ、畠が見られる風景、新しい体験や遊び、人同士の交流を通じて新たな“えん”を作ります。“時の路”は、羽田のまちとHICityをつなぐ動線として、古き羽田をつなぎ合わせます。



整備方針 『ワクワクする場所で多様な“えん”を結ぶ』



ポイント 設計段階から公園運営を見据えた住民参画

- 公園で実現したいこと、公園ルールの策定等を住民参画のもと実施することで、“ともに”公園をつくります。
- 公園の認知度向上に寄与するとともに、開園後のイメージを膨らませるきっかけをつくります。

地域の特性と調和した4つのエントランス

- 地域からのメインエントランスをはじめ、本公園を一望できるとともにHICityとの連携や賑わい創出の拠点となるエントランス等、合計4つのエントランスを設けています。

1 2 3 性格の異なる3つの草地広場

- 公園の中心に、芝生をメインとした3つの草地広場を連続して配置することで、空への空間的な広がりを感じることができます。

4 友だちの輪が広がる「あそびば」「たまりば」

- 公園の中心部は、乳児から大人までが一緒に楽しむことができる、“えん”が深まる屋外の「あそびば」と、半屋外の「たまりば（屋根付広場）」を配置します。
- 屋根付広場では、可動式遊具の導入により、天候に左右されない多様な遊びを提供します。

5 新たな出会いや様々な“えん”を生み出す、3つの「公募対象公園施設」

Café&Brewing【飲食店（製造体験）】/ Mecha Lab Haneda【ロボット学習体験施設】/ 駐車場

6 スポーツフィールド

- 誰でも参加でき、年齢や障がいの有無に係わらず、全ての人が楽しく体を動かすことができます。

7 8 地域とつながる2つの軸「花の輪」「時の路」

- 周囲とのつながりを育みながら地域としての回遊性を高め、賑わいを生み出す本公園のメイン動線です。